

第1種指定化学物質候補案の修正箇所一覧(案)

資料6-2

番号	物質名称	別名	物質指定		有害性クラス							修正内容				
			一種	特定一種	発がん性	変異原性	生殖発生毒性	感作性	一般毒性	TWA	生態毒性					
1-36	イソブレン	ビスフェノールA				1						2	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-37	4,4'-イソプロピルジフェノール	ビスフェノールA										2	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-40	イソプロピル-2-(4-メトキシフェニル)-3-エチル-1-ヒドロキシホスフェート	ビフェナゼート									3	1	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-41	3'-イソプロピルキサン-2-トリフルオロメチルペンザニリド	フルトラニル										2	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-46	エチル=2-[4-(6-クロロ-2-キノキサリニルオキシ)フェノキシ]プロピオナート	キザロホップエチル									3	1	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-47	O-エチル=O-(6-ニトロ-メタ-トリル)=セクダリ-ブチルホスホアミドチオアト	ブタミホス									3	1	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-48	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホチオアト	EPN								2	2	1	誤った別名が記載されていたため修正した。			
1-49	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キナジリン	ペンディメタリン									3	2	1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-50	S-エチル=ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオアト	モリネート										3	2	1	誤った別名が記載されていたため修正した。	
1-52	エチル=O-3-(N-ベンジル-N-(1-メチル(1-メチルチオエチル)アミノ)シカカルボニル)アミドプロピオナート	アラニカルブ											1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-53	エチルベンゼン	ホスチアゼート				2							2	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-54	O-エチル=S-1-メチルプロピル=(2-オキソ-3-チアゾリジン)ホスホチオアト	ホスチアゼート										2	1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-60	エチレンジアミン四酢酸	マンネブ											1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-61	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンネブ	マンネブ											3	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-62	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物	マンコゼブ又はマンゼブ				1	3						1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-63	1,1'-エチレン-2,2'-ビピリジニウム=ジブツト	ジクアトジブツト又はジクワット										3	2	1	誤った別名が記載されていたため修正した。	
1-64	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-エトキシベンジルエーテル	エトフェンブロックス											1	誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-68	1,2-エポキシプロパン	酸化プロピレン				2	1							誤った別名が記載されていたため修正した。		
1-87	クロム及び三価クロム化合物				O⇒×	1⇒×					1	3	1	1	クロム及び三価クロムのACGIH分類結果はA4(発がん性物質として分類できない物質)であるため、発がん性クラスなしと修正し、特定一種への指定も撤回した。	
1-144	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く)				O⇒×	1⇒×							3	1	シアン化ニッケル(II)がGLP分類における1AIIであるため発がん性クラス1に分類したが、当該分類結果は、化合物中のニッケル成分に起因するものと考えられることから、発がん性クラスなしと修正し、特定一種への指定も撤回した。	
1-149	四塩化炭素					2						2	1	専門家の意見が適切に反映されていなかったため、一般毒性(吸入)クラス3に修正した。一般毒性としては、水質基準に基づいてクラス2が付与される。		
1-236	3,5-ジヨード-4-オクタノイルオキシベンゾトリル	アイオキシニルゾトリル				2						⇒3	1	専門家の意見が適切に反映されていなかったため、クラス3に修正した。		
1-237	水銀及びその化合物					2	1				1	⇒2	1	専門家の意見が適切に反映されていなかったため、クラス2に修正した。		
1-242	セレン及びその化合物				O⇒×	1⇒2		1	3		1	1	2	1	1-144無機シアン化合物と同様に、他の金属との化合物に基づいて発がん性クラス1に分類したが、当該分類結果は、化合物中の他の金属成分に起因するものと考えられることから、現行のクラスを踏襲して発がん性クラス2に修正し、特定一種への指定も撤回した。	
1-298	トリレンジイソシアネート					2					1	⇒1	1	有害性の情報源を再度確認したところ、環境省環境リスク初期評価(平成28年度)では根拠データが引き続き得られていることより、吸入慢性毒性にクラス1を付与した。		
1-305	鉛化合物					1⇒2		1	1				1	1-144無機シアン化合物と同様に、他の金属との化合物に基づいて発がん性クラス1に分類したが、当該分類結果は、化合物中の他の金属成分に起因するものと考えられることから、現行のクラスを踏襲して発がん性クラス2に修正した。		
P10	3-アリアルオキシ-1,2-ベンゾイソチアゾール=1,1-ジオキシド	プロベナゾール										⇒3	2	ADIに基づくクラス付与結果が適切に反映されていなかったため、修正した。		
P24	4,4'-イソプロピルジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	ビスフェノールA型エポキシ樹脂					1⇒×						2	in vivo試験において小核/CA試験(DFG,MAK及びBAT)で陰性の結果であったものの、in vitroでは Ames/MLA/CA試験(US,NTP及びDFG,MAK及びBAT)において陽性の結果から遺伝子突然変異を否定できないと判断していた。一方で、ハブコメで指摘のあった EUEFSA及びOECD-SIDSの情報を精査したところ、発がん性及び遺伝毒性に対して懸念が示されていないことが確認できたことから変異原性における有害性クラス分類1を撤回した。		
P32	2-エチルヘキサキサン-1-オール				O⇒×								2⇒×	1	指示的-【優先順位1】となっている情報源から化学法クラス外となるデータが得られていることから、生態毒性のクラス分類2を撤回し、対象物質候補から除外した。	
P38(2-15)	4,4'-オキシビス(ベンゼンスルホ/ヒドロ)ド												3	2⇒1	環境省生態影響試験(2002)段階48時間EC50=2.9mg/Lを採用しクラス2としていたが、現行の第二種指定化学物質に指定した際のデータ(環境省生態影響試験(2002)段階72時間NOEC=0.059mg/L)が有効であったためクラス1に変更した。	
P56	N-[3-[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]-1,3-チアゾリジン-2-イリデン]カルバモトトリル	チアクロプリド											3⇒×	1	ADIに基づくクラス付与結果に誤りがあったためクラスなしに修正した。	
P76(2-36)	1,3-ジクロロ-2-プロパノール					2						⇒3		現行の第二種指定化学物質として指定した際のデータが有効であったため、一般毒性クラス3を付与した。		
P79	シトラー				O⇒×								2	事業者による自主的な管理の促進という本法の趣旨に照らし、第一種指定化学物質候補から除外した。		
P80	シハロホップブチル				O⇒×								1	シハロホップブチルは、複数のCAS登録番号が割り当てられており、既に1-361として別のCASに基づいて第一種指定化学物質として指定されていることから、P80については削除した。		
P83(2-45)	1,2-ジブトロモエタン					2						⇒1		一般毒性(経口)については、水質環境基準=0.0005mg/L(ランク1)の付与されていなかったためクラス1に修正した。なお、現行の第二種指定化学物質として指定した際のデータが有効であったため、一般毒性(吸入)クラス2を付与した。		
P102	タリウム及びその化合物											⇒2	2	1	水質基準に基づくクラス付与結果が適切に反映されていなかったため、修正した。	
P104	炭化タンクステン(WC)				O⇒×								1	1	当該化学物質については炭化タンクステンを含むコバルト金属の場合に有害性が確認されることから、当該化学物質候補としては除外し、別途候補対象としているコバルト及びその化合物に含めることとした。	
P109(2-60)	1,1,2,2-テトラクロロエタン					2	1						3	2	現行2種として、現行の有害性クラスのデータが漏れていたが、今回のクラス案に修正なし。	
P120(2-24)	トランス-1,2-ジクロロエチレン												3		現行2種として、現行の有害性クラスのデータが漏れていたが、今回のクラス案に修正なし。	
P126(2-66)	トリブトロモタン					2	⇒1						3	3	2	GHS分類を再精査したところ、クラス2の知見があり、専門家にも確認したところ信頼しうるものであったため、クラス1を付与した。
P137	ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラト					2								1⇒2	専門家の御意見の反映に誤りがあったため、クラス2に修正した。	
P161	フルフラール												3	2⇒×	専門家の御意見の反映に誤りがあったため、クラスなしに修正した。	
P168	cis-ヘプタクロロエポキシド											⇒1	2		水質基準に基づくクラス付与結果が適切に反映されていなかったため、修正した。	
P194(2-95)	メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート													1	現行2種として、現行の有害性クラスのデータが漏れていたが、今回のクラス案に修正なし。	
P198	2-メトキシエチル=2-[4-(tert-ブチル)フェニル]-2-シアノ-3-オキソ-3-[2-(トリフルオロメチル)フェニル]プロパノアト	シフルメトフェン											1	2⇒×	水溶性(たとえば環境省環境リスク初期評価において28.1µg/L(20℃)と記載されている)がNOEC=0.709mg/Lはこれを3倍以上超過するものであり、有害性クラスなしと修正した。	
P199	2-(2-メトキシエトキシ)エタノール												⇒3	3⇒×	生殖発生毒性が生態毒性クラスに誤って付与されていたため修正した。	